

## 地域医療支援病院の名称承認申請について

開設者名	地方独立行政法人東京都立病院機構	開設者所在地	東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
病院名	地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立墨東病院	病院所在地	東京都墨田区江東橋四丁目23番15号
診療科目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、皮膚科、リウマチ科、感染症内科、小児科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科、内分泌代謝内科、精神科、形成外科、呼吸器外科、乳腺外科、消化器外科、泌尿器科、新生児内科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科		
指定等	東京都指定二次救急医療機関、東京都災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院		
病床数	765床		
申請概要	<p>(申請に当たっての考え方)</p> <p>【承認に向けて】</p> <p>当院はこれまで、地域の医療機関の方々に支えられながら、区東部保健医療圏において総合診療基盤を発揮し、救急医療をはじめとする行政的医療を提供して参りました。</p> <p>この間、少子高齢化の進行や東京都地域医療構想の策定など医療環境は急速に変化し、都民が病状に応じて適切な医療機関を受診できるよう、他の医療機関との紹介、返送・逆紹介の推進や在宅医療を実施する関係機関への支援など、地域医療支援に関する必要性が高まってきています。</p> <p>令和4年7月に、当院は地方独立行政法人「東京都立病院機構」へと移行しますが、今後も広域基幹型の都立病院として、地域に不足する医療の提供により一層尽力するとともに、都全域に救急医療などを提供していきます。</p> <p>地域連携業務については、CTやMRIなどの高額医療機器の共同利用をはじめ、一般の医療機関では対応が困難な高度専門医療や行政的な対応が必要な医療等を地域の方々に提供するため、地域の医療機関との連携を強力に推進しています。また、地域の医療従事者を対象とする研修や、訪問看護ステーション等との連携を着実に実施するとともに、さらなる充実策を検討し、地域医療人材の育成に取り組んでいます。さらに、墨東病院運営協議会において、地域医療を共に支える方々と協働して、当院の業務状況の確認や当院に求められる地域医療支援策などを協議しております。</p> <p>また、今日の新興感染症の世界的な発生・拡大や、激甚化する大規模水害、発生が見込まれる首都直下地震など、東京は大きなリスクに直面していますが、当院は、地方独立行政法人となっても、災害等の発生時には、都と一体となって医療救護にあたるなど、地域の皆様の安全・安心を守っていきます。</p> <p>これからも、地域医療に携わる方々と協働しながら、当院に求められる役割に対して有する機能を十分に活用し、紹介・逆紹介をはじめとした地域医療連携をより一層推進していくため、ここに地域医療支援病院の承認をお願いしたく、申請いたします。</p> <p>【管理者の行うべき事項として知事が定める事項についての実施計画】</p> <p>1 感染症医療の提供</p> <p>(1) 感染症医療に係る取組</p> <p>当院では、院長が積極的に感染対策に関わり、院内感染予防対策委員会・感染管理室・感染対策チーム(以下、ICT)・抗菌薬適正使用支援チーム(以下、AST)が中心となって、すべての職員に対して組織的な対応と教育・啓発活動を行っています。</p> <p>感染管理室が、感染管理組織の司令塔として、院内感染予防対策委員会で決定された方針に基づき、組織横断的に感染症対策および感染対策を企画・立案・改善するために活動します。主に、平常時における院内感染防止のための規律整備や対策の検討・実施、院内職員への研修計画立案・実施、症状スクリーニングや感染症患者入院時の動線整備等の対応を行っています。</p> <p>院内感染対策(感染予防・感染制御)を推進する組織として、診療科、看護部、薬剤科、検査科、事務の各部門で構成された院内感染防止対策委員会、感染対策チーム(ICT)、抗菌薬適正使用支援チーム(AST)を設置し、日々の感染症医療の分析・立案・提案、感染症発生時の発生調査、保健所等への報告等を実施する体制を整備しています。</p>		

# 地域医療支援病院の名称承認申請について

## 申請概要

### (申請に当たっての考え方)

院内全職員への研修は、年4回継続的に開催し、院内感染防止対策や抗菌薬適正使用に関する基本的な考えを周知し、職員の感染対策に対する意識向上に取り組んでいます。

加えて、他の地域医療機関との感染対策に関する相互訪問評価、1類感染症患者等の受け入れ訓練や防護具の着脱訓練を区と連携して行う等の取り組みを定期的の実施し、地域全体の感染症対応力の底上げや、区・地域医療機関等との協力体制の強化を行っています。

### (2)新型コロナウイルスへの対応

令和2年1月、武漢からの日本人帰国者の緊急帰国から、当院の新型コロナウイルスへの対応は開始しました。新型コロナウイルスの対応については、判断・意思決定を行うための院内組織として新型コロナウイルス感染症対策本部を設立し、幹部職員、感染対策チーム(ICT)および看護部、コメディカル、事務の所属長等が参加し、新型コロナウイルス感染症対策について議事決定した内容を迅速に院内に周知する体制を構築しています。新型コロナウイルス感染症対策本部および感染管理室に情報を集約し、新型コロナウイルス患者(疑い含む)が院内で発生した際は、迅速な院内周知・注意喚起と接触者の切り分け等を行えるようにしています。

当院は、新型コロナウイルス入院重点医療機関として、東京都の要請により、重症患者対応14床を含む最大140床の受入病床を確保し、東京都福祉保健局新型コロナ入院調整本部、救急隊等から新型コロナ陽性患者を積極的に受け入れています。外来体制においては、発熱外来で当院への入館者を対象に体温測定及び咳、咽頭痛、強い倦怠感等の症状の有無を確認し、振り分けを行う体制を徹底しております。加えて、新型コロナウイルスの大規模流行に係る事業継続計画を策定し、職員約2000人中10%程度が感染拡大に関連した理由で出勤不能となることを想定して、業務圧縮を含めた具体的方略を院内に示しています。

### (3)今後の展望

感染対策の相互訪問評価や区と連携した各種訓練といった従前の取組に加え、クラスターが発生した施設等へ医師・看護師等を派遣する早期介入や、教育機関や社会福祉施設等での感染症予防教育の実施などにより、一層地域との連携を深めつつ、地域全体の感染症対応力の更なる底上げを図りたいと考えております。

未だ新型コロナウイルス感染拡大の終息が見えない中、withコロナ、postコロナ対応を見据えた感染対策を図るとともに、引き続き積極的な患者受入れ及び上記感染対策を実施し、区東部保健医療圏および東京都の感染拡大防止に繋げていきます。

## 2 災害時の医療の提供

### (1)災害医療に係る取組

当院は区東部保健医療圏の災害拠点病院として、区域内及び都内や近隣県等で災害が発生した場合は、都知事の要請により適切な医療を確保し、必要な医療救護活動を行う役割を担っています。平成25年に業務継続計画(BCP)を策定し、以後定期的な見直しを行いつつ、この計画に基づいた準備を行っています。

ソフト面では当院の地域災害医療コーディネーターを中心として、トリアージ研修、災害医療基礎研修及び各種訓練を継続的に実施するとともに、区・地域医療機関等との災害医療連携会議を定期的に主催し、地域全体の災害対応力の底上げや、区・地域医療機関等との協力体制の強化を行っています。ハード面では重要インフラ(電気、水、医療ガス、電子カルテなど)の整備と喪失時の対策立案、医薬品や医療器材、飲料水や食料等の備蓄・管理、ソフト面では重症傷病者を円滑に受け入れるための災害訓練などを定期的の実施しており、大規模災害時に迅速に対応できるよう備えています。特に、近年増加する集中豪雨等により発災の可能性が高まっている水害については、令和3年度に病院建物前に止水板の設置工事を行い、設置訓練を定期的の実施する等、平時から災害対応力の強化に努めています。

## 地域医療支援病院の名称承認申請について

### 申請概要

(申請に当たっての考え方)

#### (2) 今後の展望

当院は、区東部保健医療圏において最大規模の総合病院であり、地域中核病院としての機能を果たしています。災害発生時には、各診療科に求められる通常診療業務の平常化を早期に行うことが求められますが、特に、救命救急センターで受け入れを行っている三次救急医療、ハイリスク分娩及びNICUを必要とする新生児への医療を提供する総合周産期母子医療、地域に不足する精神科の救急医療などは優先度の高いものと認識しています。

今後も、継続的にトリアージ研修、災害医療基礎研修及び各種訓練を実施するとともに、必要に応じて入院患者の転送や災害用物品類の貸与を互いに行える体制を維持できるよう、地域の災害拠点連携病院や災害医療支援病院とより緊密に連携し、当院に求められる役割を果たしていきたいと考えております。

なお、今般の申請においては、新型コロナウイルス感染症の影響により地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実施について、年間12回以上主催することが困難でしたが、これは地域における新型コロナウイルス感染症患者の対応による一時的なものであり、今後は必要な回数の研修を実施いたします。このことをご理解いただき、ご審査いただきますようお願いいたします。

事項	<b>① 紹介患者に対し医療を提供する体制が整備されていること</b> 次のいずれかに該当 <input type="checkbox"/> 紹介率80%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上 <input type="checkbox"/> 紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上
	<b>② 共同利用のための体制が整備されていること</b> <input checked="" type="checkbox"/> 共同利用に関わる規定 <input checked="" type="checkbox"/> 利用医師等登録制度(開設者と直接関係のない医療機関が5割以上) <input checked="" type="checkbox"/> 共同利用のための専用病床
	<b>③ 救急医療を提供する能力を有すること</b> <input checked="" type="checkbox"/> 24時間重症救急患者の受入に対応できる体制(医師等医療従事者、施設使用) <input checked="" type="checkbox"/> 重症救急患者のために優先的又は専用に使用できる病床 次のいずれかに該当 <input checked="" type="checkbox"/> 救急自動車により搬送された患者数が1,000以上 <input type="checkbox"/> 救急自動車により搬送された患者数が二次医療圏人口の0.2%以上
	<b>④ 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修行わせる能力を有すること</b> <input checked="" type="checkbox"/> 研修プログラム <input checked="" type="checkbox"/> 研修全体の教育責任者及び研修委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 施設、設備 <input checked="" type="checkbox"/> 年間12回以上主催(前年度) <small>※新型コロナウイルス感染症の影響により休止したため8回開催*</small>
	<b>⑤ 医療法に規定する施設を有し、構造設備が要件に適合すること</b> <input checked="" type="checkbox"/> 集中治療室 <input checked="" type="checkbox"/> 化学、細菌及び病理の検査施設 <input checked="" type="checkbox"/> 病理解剖室 <input checked="" type="checkbox"/> 研究室 <input checked="" type="checkbox"/> 講義室 <input checked="" type="checkbox"/> 図書室 <input checked="" type="checkbox"/> 救急用又は患者輸送用自動車 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品情報管理室
	<b>⑥ 諸記録を備えておくこと、体系的に管理すること、閲覧させること</b> <input checked="" type="checkbox"/> 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の備え <input checked="" type="checkbox"/> 諸記録の管理責任者及び担当者を定め、分類した管理 <input checked="" type="checkbox"/> 諸記録の閲覧に関する責任者、担当者及び閲覧場所を定め、見やすいよう掲示
	<b>⑦ 地域医療支援病院が設置すべき委員会を設置すること</b> <input checked="" type="checkbox"/> 委員構成(医師会、行政機関、学識経験者等) <input checked="" type="checkbox"/> 定期的な開催(4半期に1回程度)(前年度)
	<b>⑧ 病院内に患者からの相談に適切に応じる体制を確保すること</b> <input checked="" type="checkbox"/> 患者相談窓口及び担当者の設置
	<b>⑨ 居宅等における医療の提供の推進に関する支援を実施すること</b> <input checked="" type="checkbox"/> 居宅等で医療を提供する医療提供施設等の連携の緊密化のための支援 <input checked="" type="checkbox"/> 医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供
	<b>⑩ 平常時からの準備も含め、新興感染症等がまん延し、又はそのおそれがある状況において感染症医療の提供を行うこと</b> <input checked="" type="checkbox"/> 平時から感染拡大時を想定した対応方針等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 感染拡大時には感染症指定医療機関等と連携し、患者の重症度に応じた積極的な受入や自院の特性を活かした医療を提供 (参考) <input checked="" type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症重点医療機関
	<b>⑪ 平常時からの準備も含め、災害時に医療を提供すること</b> <input checked="" type="checkbox"/> 平時からBCPを策定し、研修及び訓練の実施や必要な備蓄を行う等体制を整備 <input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時には区市町村等と連携を図り、傷病者を受け入れる (参考) <input checked="" type="checkbox"/> 東京都災害拠点病院 <input type="checkbox"/> 東京都災害拠点連携病院